

事務事業名		市営住宅管理事業(住宅用火災警報器設置)		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 合併建設計画登載事業			
政策体系	政策名	0:1: 潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目			
	施策名	0:2: 良好な生活空間の創造							
	基本事業名	0:3: 住宅環境の整備							
所属	根拠法令	消防法、大船渡地区消防組合火災予防条例		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(開始 年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↓ 【計画期間】 20 年度 ~ 21 年度 全体計画欄の総投入量を記入	01	08	06	02	08
	部課名	都市整備部都市計画課							
	係名	建築住宅係	電話 内線						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)					全体計画(期間限定複数年度のみ)				
住宅火災による死者数は年々増加傾向にあり、建物火災による死者数の約9割を占めており、そのうち約7割は就寝時間帯に発生した火災からの逃げ遅れによるものがある。そのため、消防法が改正になり、また、それに伴い大船渡地区消防組合火災予防条例も改正され、すべての住宅への住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。法や条例にしたがい、設置が義務付けられた市営住宅に火災警報器を設置(1戸につき3箇所)する。					総投入量(千円)	事業費	国庫支出金	2,613	
							都道府県支出金		
							地方債		
							その他	672	
							一般財源	3,587	
							事業費計(A)	6,872	
							人件費	正規職員従事人数	2
	延べ業務時間	80							
	人件費計(B)	320							
	トータルコスト(A)+(B)	7,192							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
	339戸、1124箇所を設置。	ア 市営住宅団地箇所数	団地
		イ 市営住宅戸数	戸
		ウ 箇所数	箇所
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	住宅用火災警報器の設置。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市営住宅。	カ 火災警報器未設置の市営住宅団地箇所数	団地
		キ 火災警報器未設置の市営住宅戸数	戸
		ク 設置するべき箇所数	箇所
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	就寝の用に供する部屋、台所等に火災警報器を設置する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)	良質な住宅に住んでもらう	サ 火災警報器を設置した市営住宅の割合	%
		シ	
		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	単位	年度					
			17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
事業費	国庫支出金	千円				2,230	463	
	都道府県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円					470	
	一般財源	千円				2,726	97	
	事業費計(A)	千円	0	0	0	4,956	1,030	0
	人件費	正規職員従事人数	人				2	2
	延べ業務時間	時間				40	40	
	人件費計(B)	千円	0	0	0	160	160	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	0	5,116	1,190	0
活動指標	ア	団地	-	-	-	18	7	-
	イ	戸	-	-	-	339	112	-
	ウ	箇所	-	-	-	1124	336	-
対象指標	カ	団地	-	-	-	25	7	-
	キ	戸	-	-	-	451	112	-
	ク	箇所	-	-	-	1460	336	-
成果指標	サ	%	-	-	-	75.2	100	-
	シ							
	ス							

事務事業ID	1335	事務事業名	市営住宅管理事業(住宅用火災警報器設置)
--------	------	-------	----------------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成16年6月に消防法が改正になり、また、それに伴い平成17年11月に大船渡地区消防組合火災予防条例も改正され、既存住宅は、平成23年5月31日までに住宅用火災警報器の設置が義務付けられた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 住宅用火災警報器の設置の義務付けが周知され、関心が高くなってきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↘ 安全な住環境を維持するために必要なものである。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↘ 市営住宅に対するものであり、市が負担すべきものである。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↘ 市営住宅が対象であり適切である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↘ 平成21年度で計画は完了した。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↘ 平成21年度で事業は完了した。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる [理由] ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない [理由] ↘ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↘	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 平成21年度で事業は完了した。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↘ 業務としては、事業の周知及び事業者との契約事務であり、必要最低限の人員・時間で実施している。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↘ 火災警報器の設置箇所を問取りにしたがって決定し、公平を確保している。 市営住宅の管理者である市が費用を負担しており、公正である。	3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映

事務事業ID	1335	事務事業名	市営住宅管理事業(住宅用火災警報器設置)
--------	------	-------	----------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点) 消防法や条例等により、既存住宅は平成23年5月31日までに住宅用火災警報器の設置が義務付けられており、市営住宅の入居者の生命を守るためにも必要な事業である。 平成21年度で事業は完了した。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 平成21年度で事業は完了した。</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 特になし。</p>																						

(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)

4 事務事業の2次評価結果

2次評価者	都市計画課長	
-------	--------	--

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合</p> <p>記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)</p> <input type="checkbox"/> 記述不足でわかりにくい <input type="checkbox"/> 一部記述不足のところがある <input checked="" type="checkbox"/> 記述は十分なされている <p>評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)</p> <input type="checkbox"/> 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) <input type="checkbox"/> 一部に客観性を欠いたところがある <input checked="" type="checkbox"/> 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>(3) 評価結果の根拠と理由 住宅用火災警報器は、消防法・火災予防条例によって設置が義務づけられているものであり、住宅火災による被害を最小限度に止めるものとなっている。</p>									
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																				
<p>(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統合・連携 <input type="checkbox"/> 現状維持 事業のやり方改善 (<input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 公平性改善) </div> <p>(上記方向性に対する具体的な内容) 21年度で計画は完了した。</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

<p>(1) 行政経営推進会議等での指摘事項</p>
